

「家がいいね」 第188号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2020.1.6

明日も今日のように続くだろうか



火を見詰める。
手を差し出す。
若者が忘れる。
手のスマホを。
時間が流れる。
ともに居る。
幸福とは自分の
ためだけか。
親は餅を炙る。
皆のために。

「サピエンス全史（文明の構造と人類の幸福）」を読み、貪欲な人類の有様を思いました。生態系の破壊は、近年に起こしたことではなく、数万年前から他生物を絶滅に追いやる存在だったのです。人類の歴史も、認知・農業・科学と革命的な変化を進めてきました。他生物にない虚構を共有する文明構造で、地球上に繁茂してきたのです。自然は地球は持続可能かと悩んだり行動も起こさずに

外からの救助は来ない



宇宙飛行士は、水の惑星を見て人生観が変わるそうです。地球温暖化は明らか事なのに、なぜ大人は何もしないと15歳のグレタは怒り両親を変え一人で挑戦を始めました。自閉拒食から命を取り戻した彼女は見事な考えと行動力を示します。大人は「経済がうまく行けば幸福になる」幻想の果てが見えても、減速しません。先見の明あるならば政治を変える時ですが、政権を取った者は、日本でも他の国でも同じく、討論を拒み、異論に耳を貸さず、間違いは認めません。自ら救えと思つたら、月の鏡にどう写る??



がんと共に生きる時代になっています

マギーズ東京を、12月

21日見学し、がん相談の実際を伺いました。再発の説明を廊下で、と言われたマギーさんが自分を取り戻すために、作り上げた場所が英国から世界に広がっています。予約なしの訪れが可能で無料、親密に対応され意欲を取り戻せる場です。進行がんを発見されても、数年生存できる時代になりました。



ました。治療も続くのですが、生きるための様々な悩みに、病院では相談する場も時も持てません。また家族には気遣いから言い出すことも控えます。訪れたマギーズでは、一人で過ごす形でも元氣が出ます。また相談員や患者同士と話せる雰囲気嬉しいものです。入念な準備が背後にありました。三重県にも、病院外の相談支援センターがあり、**がんサポートみえ**の名称です。10年続き地域に根を下ろしつつあります。相談支援の質を維持することには、サポーターの中心になる患者さん方からも強く求められています。

休診日のお知らせ

土曜の臨時休診をご了承下さい。

1月11日、2月29日
3月7日、

新年のごあいさつ

年賀状もご丁寧にありがとうございました。娘世代はSNSで済ませているせいか、配達が無いという有様です。最後になりましたが本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105

メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
ホームページ <http://isezaitaku.com>

↑バックナンバーはここで閲覧可